

款10 教育費

項1 教育総務費

目1 教育委員会費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,310,000円	5,788,220円		521,780円

目的	教育委員会議の開催と事務局運営				
指標	開催回数	目標	15回	実績	16回 (15年度 16回)
説明	委員会に属する事務を適正に管理、執行し、本市における教育振興を図るため、教育委員会議を16回開催し、教育行政の基本事項、小・中学校、幼稚園の教育指導方針、重点施策及び条例規則の改正等24件の審議を行いました。また、本市教育の重要課題や懸案事項等について、関係者を交えた議論の場として教育懇談会を6回開催し、本市教育施策の充実に努めました。				

〔委員報酬〕 5,074,110円

・教育委員会委員 委員長 1人 委員 3人

〔交際費〕 36,750円

その他経費

〔負担金〕 577,110円

・三重県市町村教育委員会連絡協議会 372,110円

・三重県都市教育長会 85,000円

・全国都市教育長会等 58,000円

・三重県公立学校施設整備期成会等負担金 62,000円

〔一般経費〕 100,250円

目2 事務局費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,304,724,382円	1,303,838,867円		885,515円

〔一般職給〕 74人 725,534,220円

〔嘱託職給〕 16人 57,165,533円

(教育総務課)

〔退職手当〕 332,897,906円

〔事務局管理運営費〕 3,597,901円

・職員健康管理費

(教育施設課)

〔学校施設整備PFI推進事業費〕 17,706,700円

PFI事業手法による30年代建設校舎等を保有する小中学校4校の改築整備については、アドバイザーの業務補助により、事業優先交渉権者と契約を締結し、事業に着手しました。なお、現在施工中であり、計画どおりの事業遂行に努めます。

その他経費

〔市立学校施設整備基金積立金〕 100,018,903円 (その他特財 18,903円)

〔公立学校施設台帳整備事業費〕 131,664円

〔事務局管理運営費〕 56,938,915円

・職員研修費 556,120円

・一般経費(長欠等代替臨時職員賃金等) 56,382,795円

目3 教育振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
260,339,000円	254,059,039円		6,279,961円

(教育総務課)

〔奨学資金〕 7,008,445円
 〔四日市市科学教育奨学資金〕 90,000円 (その他特財 90,000円)

目的	私立学校の教育条件の維持向上及び経営の健全化の支援				
指標	対象学校数、対象生徒数 官民保育料格差	目標	8校、2,500人 官民保育料格差縮減	実績	8校、2,636人 (15年度 8校 2,497人) 75,566円 (15年度 78,069円)
説明	私立学校(市内6校、市外2校、市内15幼稚園)の運営費等を補助することで教育条件の維持向上及び経営の健全化を支援するとともに、市内の私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、保育料を補助することで、保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図りました。また、本年度から目標の明確化を図るべく、「官民保育料格差縮減」を「1人当りの市補助額」に改めました。				

〔私立学校等振興助成費〕 41,756,990円
 ・私立学校等運営費補助金 12,059,450円
 ・私立幼稚園運営費補助金 9,058,540円
 ・私立幼稚園教員研修費補助金 1,980,000円
 ・私立幼稚園協会運営費補助金 90,000円
 ・私立幼稚園保育料補助金 18,569,000円

(指導課)

目的	小中学校教育を充実する				
指標	指導要録の各教科の評定結果	目標	「おおむね満足できる」以上75%	実績	「おおむね満足できる」以上76% (15年度 76%)
説明	基礎学力定着・向上をめざして、平成14年度より到達度検査の実施とともに、その結果を基に少人数授業や具体的な指導について提言を行ってきたことにより、四日市市の子どもの学力は全国平均以上となっています。特に英語については外国人英語指導員11名を各中学校に派遣し、英語教育の充実に努めていることが水準の高さにつながっています。学校特色化支援では、保護者や地域の人々の支援ボランティアとしての協力や、学校との連携を進めることができました。このような学習活動の充実をめざした事業等の展開によって、「おおむね満足できる」以上75%の目標は達成することができましたが、事業内容の検討や指導の工夫により、さらに実績値の向上に努めます。 また、小中学校一貫教育(学びの一体化)推進は、4モデル校区において教育活動の連続性を確保する方策やカリキュラム開発等の調査研究を進めているところです。今後、市内全中学校区での実施に向けた検討を進めます。				

〔委員報酬〕 168,300円
 ・障害児就学指導委員会委員 3人
 〔児童生徒指導事業費〕 10,964,405円
 ・環境教育推進事業費 426,195円
 ・体力づくり推進校事業費 300,000円 (県支出金 300,000円)
 ・文化部活動奨励費補助金 2,854,390円
 ・自分発見中学生・地域ふれあい事業費 1,500,000円 (県支出金 750,000円)
 ・基礎学力定着向上事業費 5,883,820円 (県支出金 1,937,000円)
 〔学校特色化支援事業費〕 9,758,500円
 〔英語指導員経費〕 50,265,390円
 〔教職員研修費〕 181,928円 (県支出金 63,000円)
 〔大規模校支援事業費〕 7,168,150円
 〔小・中学校一貫教育推進事業費〕 242,560円

目的	生徒指導を充実する				
指標	問題行動・不登校児童生徒数	目標	190件・320人	実績	137件・342人 (15年度204件・324人)
説明	教育相談事業の充実及び各学校における生徒指導や関係機関の連携等を充実させることにより、問題行動の発生件数は目標数の72%（前年より33%減）となり、大きく減少しました。しかし、不登校児童生徒数は、目標の320人を超えている状況であり、まだまだカウンセリング機能・体制等の充実等、この課題に向けた取組が必要です。				

〔児童生徒指導事業費〕	36,607,001円			
・教育相談事業費	6,461,000円			
・中学校単位地域すこやか協力者会議事業費	420,000円			
・生徒指導対策事業費	7,310,000円			
・不登校対策事業費	2,000,000円			
・来日外国人児童生徒教育充実事業費	18,926,001円			
・外国人児童生徒サポート事業費	800,000円		(県支出金	800,000円)
・子どもと親の相談員活用調査研究委託事業費	690,000円		(県支出金	690,000円)

目的	幼稚園教育を充実する				
指標	保護者の保育に対する信頼度	目標	「信頼できる保育」80%以上	実績	信頼できる保育（行事について）92.5% (15年度・調査検討作成)
説明	園開放への参加者や子育て相談相談（前年比51%増）が増加しており、地域の子育てセンターとしての役割が高まりつつあります。地域が主体となる子育て支援活動は、前年度に引き続き2地域で実施しました。今後も公募を行い実施地区が増えるように働きかけをしていきます。信頼度に関する調査は、16年度において、行事を中心に行い、高い信頼度を示していますが、17年度より園づくりビジョンに対応した園自己評価を実施し、園経営の課題を明確に把握した取り組みを進めるように努めます。				

〔子育て支援推進事業費〕	2,287,860円
・子育て支援活動費	927,860円
・子育て支援運営費補助金	1,360,000円

その他経費

〔負担金〕	3,164,000円
・三泗教育発表振興会	2,575,000円
・教科書採択協議会	589,000円

（学校教育課）

〔学校図書館ネットワーク事業費〕	3,781,995円
楠町小中学校図書館整備費等	
〔保健給食費〕	908,523円
・保健給食研修費	198,838円
・環境衛生検査室管理費	271,685円
・四日市学校保健会補助金	438,000円
〔学校特色化支援事業費〕	9,949,150円
〔大規模校支援事業費〕	5,796,021円
〔負担金〕	545,540円
・三重県特殊教育振興会等	

（人権・同和教育課）

目的	学校人権教育の推進充実を図る				
指標	学校におけるリーダーの養成人数（15年度以降の累積人数）	目標	40人	実績	40人（15年度 20人）
説明	連続講座によるリーダー育成研修を実施し、指導者の育成に努めるとともに、個別のテーマで人権教育に関する研究を進め、その成果を市内の全校園に広げました。また、保・幼・小・中で連携を図り、実践交流形式を取り入れるなど、より充実した研修を行い、14年度から実施してきた県の人権教育推進委託事業においては、情報交換や合同研修会を実施し、各校園教職員の人権感覚や実践力向上を図りました。				

〔人権教育指導者・リーダー育成充実事業費〕	4,965,460円
・学校リーダー育成研修会事業費	527,720円

- ・人権教育推進校園委託事業費 1,060,000円
- ・中学校ブロック人権教育充実委託事業費 700,000円
- ・人権教育実践推進事業費 2,499,000円 (県支出金 2,499,000円)
- ・学校人権教育研修会 178,740円

目的	地域の児童・生徒の自主自立を支援				
指標	委託校	目標	9小中学校	実績	9小中学校 (15年度 9校)
	キッズホリデー 実施回数		65回		65回 (15年度 70回)
説明	地域人権教育推進事業では、目標校数9校に事業を委託することができました。事業では人権学習、進路相談等を中心に、地域から参加者を募り、人権尊重の心と実践力が育まれるように進めました。 また、キッズ・ホリデースクール事業では、実施主体の四館所が中心となり、地元のボランティアの協力を得ながら、多彩な取組みを行うことができました。				

- 〔子ども人権文化創造事業費〕 4,771,056円
- ・地域人権教育推進事業費 4,070,000円
- ・キッズ・ホリデースクール事業費 701,056円

その他経費

- 〔人権教育学習機会提供・充実事業〕(研修派遣、ポスター・カレンダー、作文集) 3,151,665円
- 〔人権教育・学習資料充実事業費〕(学校人権教育の手引き他) 249,054円
- 〔人権教育・学習機材充実事業費〕(パソコン導入、学習図書他) 1,496,760円
- 〔学校人権教育事業費〕(学校同和教育奨学資金) 96,000円

(教育センター)

目的	情報教育の推進				
指標	情報担当者への加配事業に関するアンケートによるプラス評価	目標	満足度 85%	実績	満足度 85% (15年度 85%)
説明	平成16年5月から翌年3月までの間に、情報教育に関する授業補助等のため、延べ63人(5,171人日)の職員を雇用し、市内小中学校60校に派遣しました。 情報機器を活用した授業において、よりきめ細やかな指導を行うことが可能となり、目標の満足度を達成することができました。				

- 〔情報教育推進補助加配事業費(県補緊急雇用創出)〕 30,208,500円 (県支出金 30,208,500円)
- 〔学校図書館資源共有型モデル地域事業費〕 8,640,345円

その他経費

- 〔一般経費〕
- ・教育振興一般経費(中学校部活動指導者報償金等) 1,272,000円
- ・教育振興一般経費(防犯ブザー、のびゆく四日市印刷製本、教育白書印刷製本等) 6,506,634円
- ・教育振興一般経費(各種研究会・会議等駐車場使用料) 754,370円

目4 教育・視聴覚センター費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
348,887,000円	336,156,999円		12,730,001円

目的	情報教育の推進				
指標	教職員へのパソコンの活用に関するアンケートによるプラス評価	目標	満足度 75%	実績	満足度 73% (15年度 73%)
説明	小中学校62校の職員室に、安全で効率的なファイル管理を実現するためのネットワークストレージを設置しました。また、小中学校全体のウィルス対策、小学校コンピュータ室ネットワーク管理、中学校のコンテンツフィルタリング等について、それぞれソフトウェアの強化を行いました。小中60校の学校ホームページの更新を推進しました。またコンピュータ活用についての研究、教育情報データベースの充実等で、学校教育におけるコンピュータ活用の推進を図りましたが、目標値には及びませんでした。教職員のニーズも年々高まり、それに十分応えられなかったためと考えられます。今後は、情報教育推進補助加配事業の完了により、情報教育推進ボランティア等、きめ細かな運用支援体制を整え、情報教育の推進に努めます。				

〔教育情報通信システム運営費〕 292,901,772円

目的	学校園での生活に不応を起している子どもならびに障害のある子どもに対する支援				
指標	教育相談を実施した保護者へのアンケートによるプラス評価	目標	満足度 85%	実績	満足度 83% (15年度 83%)
説明	発達や行動等に課題をもつ子どもを対象に、学校・園・保護者からの要請に応じて相談活動を実施しました。また、子どもの状況に応じて学校や専門的な相談機関、医療機関と連携を図りながら、支援・援助を行いました。目標値には及びませんでした。今後は、特別支援教育の実施に向けた相談支援体制の整備が求められるため、巡回相談員等学校間の連携をさらに深めながら、地域における相談支援体制を充実させていきます。				

〔教育センター事業費〕 6,553,619円

・教育相談事業費

相談件数等

来所相談件数	相談延回数	訪問相談件数
280 件	1924 回	216 件

関係機関との連携件数

相談機関	医療機関
30 件	18 件

目的	教職員の多様なニーズと課題解決のための研修を推進				
指標	研修会に参加した教職員へのアンケートによるプラス評価	目標	満足度 90%	実績	満足度 87% (15年度 85%)
説明	読書指導、特別支援教育、少人数指導、人権教育、情報教育等を教育課題とし、延べ7,200人が受講しました。また、幼稚園グループ研修会(20回 330人)や先進校園への派遣研修(18人)を実施しました。研修会に参加した教職員へのアンケートによる満足度は昨年度(15年度)を上回りましたが、設定した目標値には及びませんでした。今後は、中核市への移行を見据え、初任者研修、10年経験者研修への対応も必要となるので研修体系の見直しを進め職種や年代、職務内容に応じた研修講座の充実に努めます。				

〔教育センター事業費〕 8,249,803円

・教職員研修費(講師報償費、先進校派遣、使用料)

7,676,808円

・三泗乳幼児教育研修事業費

572,995円

(その他特財 150,000円)

目的	学校・園における教育課題解決のための研究を推進				
指標	課題研究に対する教職員へのアンケートによるプラス評価	目標	満足度 80%	実績	満足度 80% (15年度 75%)
説明	国立教育政策研究所研究部長の指導のもと、「四日市の部落史の活用」「教育評価」「少人数指導」についての研究等6課題の今日的な教育課題研究に取り組み、研究成果を関係機関に配付しました。これらの課題研究に対する教職員へのアンケートによる満足度は目標を達成することができました。今後も研究の継続と発展及び研究と研修の一体化を図るため、引き続き、人権・同和教育、教育評価、情報モラル教育、特別支援教育、不登校児童生徒への支援に関する研究を行い、今日的な教育課題解決のための研究推進に努めます。				

〔教育センター嘱託研究事業費〕 180,000円

〔教育センター事業費〕

4,157,401円

- ・教育課題等研究調査費 1,635,429円
- ・教職員研修費（嘱託研究校・園事業費） 2,521,972円
- 〔視聴覚ライブラリー事業費〕 6,369,559円（その他特財 1,581,000円）
- 〔視聴覚センター事業費〕 2,054,250円

生涯学習や学校教育の効果的な活動を支援するため、液晶ビデオプロジェクター、教材用ビデオテープ、16ミリフィルム等の視聴覚機器・教材の整備を行いました。また、市民の生涯学習に寄与できる実技講習会を実施するとともに、映画鑑賞会「親と子の映画会」を年7回実施し、延べ1,013人が参加しました。

区 分	保 有 数		利 用 状 況			
	購入数	保有総数	学校教育	社会教育	その他	計
16ミリフィルム	2	1,209	37	42	2	81
ビデオテープ	106	1,337	459	155	195	809

区 分	保有総数	利用回数	利用日数
16ミリ映写機	2	7	49
液晶プロジェクター	7	268	824
スライド映写機	2	10	29

実技講習会実施状況及び応募状況

講習会名称	ビデオ撮影	ワード入門	ワード基礎	エクセル入門	エクセル基礎	パソコン入門
講習会開催回数	2回	1回	2回	1回	2回	2回
定 員	20人	40人	80人	40人	80人	80人
応 募 数	28人	72人	186人	144人	212人	207人

- 〔適応指導教室事業費〕 9,530,117円（その他特財 427,700円）
- ・第1適応指導教室 4,982,776円（県支出金 2,000,000円）
- ・第2適応指導教室 4,547,341円

- 〔不登校児童生徒支援ボランティア事業費〕 984,000円（県支出金 450,000円）

不登校児童生徒の社会性や協調性を培い、集団適応能力を高め、学校復帰を目指して学習及び体験活動を行いました。また、家庭に閉じこもっている不登校児童生徒に対して、学生ボランティア27人を登録し、遊びや話し等、児童生徒とのふれあいを通し、自立に向けた支援活動として、家庭への派遣、適応指導教室での学習や体験活動支援を行いました。

開級日数	通級生 47人					
	復 帰	進 学	就 職	再相談	再入級	その他
204 日	5人	21人	0人	2人	15人	4人

家庭派遣状況

派遣件数	派遣回数	学校復帰	進 学
6 件	56回	2人	1人

ふれあいフレンド活動支援状況

活動内容	参加人数	活動回数
学習支援	154人	93回
体験活動支援	40人	25回

その他経費

- 〔負担金〕 1,165,800円
- ・三泗教育研修運営委員会 1,100,000円
- ・全国教育研究所連盟等 65,800円

項2 小学校費
目1 学校管理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,651,014,577円	1,623,181,306円		27,833,271円

〔一般職給〕 70人 518,732,040円
〔嘱託職給〕 38人 112,289,554円

(教育総務課)

〔学校管理運営費〕 148,846,239円
・一般管理運営費(事務補助及び給食調理員賃金等)

(学校教育課)

目的	健康診断の充実				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.8% (15年度99.8%)
説明	健康診断については、学校保健法に基づく心臓、検便、検尿等、毎年学校医、歯科医等の検診により、児童の健康維持、管理に努めています。16年度の受診率は99.8%となっており、今後ともほぼ100%の受診率を確保することで児童の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕 44,707,074円
・校医 46人 22,976,257円
・歯科医 46人 17,708,958円
・薬剤師 40人 4,021,859円
〔学校保健衛生管理費〕 34,662,930円
・児童健康診断費

目的	安全で安価な給食の提供				
指標	一食あたり人件費	目標	208円	実績	198円 (15年度198円)
説明	安全で安心できる学校給食を提供するため、調理員への衛生指導や研修会等を定期的実施するほか、学校訪問による給食指導を行いました。また、食材の選定や発注を担う給食協会に対しては、サンプル検討会等を実施し、給食の質の確保に努めました。さらに、効率化を目指したなかよし給食事業を小山田・高花平小学校間で開始しました。今後も一定の条件に適合する学校については、事業実施を検討していくこととします。				

〔学校給食管理運営費〕 68,226,787円
・学校給食業務運営費 17,081,644円
・なかよし給食事業費 7,633,874円
・給食従事者健康診断費 1,260,127円
・一般管理運営費(プロパン、都市ガス等) 42,251,142円
〔学校管理備品整備費〕 22,833,783円
・一般給食備品(給食室備品)

その他経費

〔学校管理運営費〕 292,697,330円
・一般管理運営費
光熱水費等経常経費
〔学校管理備品整備費〕 13,813,086円
・一般備品整備費(印刷機、キャビネット等管理備品費) 12,652,731円
・一般保健室備品 1,160,355円
〔学校保健衛生管理費〕 14,535,082円
・教職員健康診断費 7,574,950円
・一般管理運営費(保健用消耗品等) 6,960,132円
〔修学旅行引率事業費補助金〕 448,726円

〔負担金〕	18,591,464円	
・学校災害賠償補償保険料等	1,609,424円	
・日本体育学校健康センター共済掛金	15,086,880円	(その他特財 6,766,620円)
・三重県学校保健会	263,400円	
・全国連合小学校長会等	1,631,760円	

(教育施設課)

目的	施設の適正な維持管理・補修				
指標	緊急工事率	目標	22%	実績	22% (15年度 23%)
説明	施設の維持管理については、適切な維持管理補修等を十分おこなうことで、「緊急工事」の発生を少しでも抑えることができることから、施設の保守点検、清掃管理等を定期的に行うとともに、適切な補修改修を計画的に施工するなど施設設備の適正な維持管理整備に努めました。しかしながら、経年による老朽化が進むなか、施設設備の全面更新は予算的にもなかなか困難なこともあり、緊急修繕を目標以上に減少させることはできませんでした。今後も優先度等を勘案しながら予算の効率運用に心がけ、適正維持管理の執行に努めます。				

〔学校管理運営費〕	313,798,064円
・施設維持管理費	86,488,213円
・施設補修費	227,309,851円

その他経費

〔学校管理運営費〕	18,020,937円	(その他特財 921,227円)
・一般管理運営費(土地使用料等)		

(指導課)

その他経費

〔学校管理運営費〕	862,118円
・一般管理運営費(修学旅行及び自然教室実施時の代替養護職員の賃金)	

目2 教育振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
454,608,000円	445,275,133円		9,332,867円

(指導課)

目的	小中学校教育の充実				
指標	指導要録の各教科の評定結果	目標	「おおむね満足できる」以上75%	実績	「おおむね満足できる」以上76% (15年度 76%)
説明	市内及び市内近辺に在住する外国人英語指導員6名を全小学校の3年生以上の学級に年間12時間程度(平成12年度は5時間程度)派遣し、小学校段階にふさわしい英語に親しむことを重視した体験的な英語活動を行うことにより、英語活動への意欲や興味や関心を示す児童が増えてきました。このことをさらに進めていくには、系統的な小学校英語活動の展開が求められており、委員会を設置してカリキュラムの作成を進めているところです。 (平成17年度完成予定)				

〔小学校英語充実事業費〕	25,116,185円
〔自然教室事業費〕	6,919,310円
〔一般経費〕	4,415,125円
・教育振興一般経費(社会科3年生用地図帳、社会科三重県・四日市地図等)	3,295,125円
・教育振興一般経費(遊覧船いなば使用料)	1,120,000円

(学校教育課)

目的	基礎学力の充実(市単独事業による講師採用の充実)				
指標	講師による授業時間数	目標	60,000時間	実績	53,604 時間 (15年度 29,199時間)
説明	基礎学力の向上ときめ細やかな学習指導を図ることを目的として平成14年度から開始した事業で、多人数学級がある学校、学級数の多い学校に対して講師を配置しました。16年度は目標を下回る結果となりましたが、15年度との比較では飛躍的な授業時間数の伸びとなりました。児童には授業態度に落ち着きがみられるなど、学習環境の改善が図られる一方で、講師の採用、配置に要する事務量の増加への対応や講師の質の維持・向上等が今後の課題となっています。				

〔基礎学力充実教員加配事業〕 136,378,871円 (県支出金 73,772,872円)

目的	障害児学級の介助員の充実				
指標	介助員の人数	目標	70人	実績	66人 (15年度 65人)
説明	多動性の情緒障害児、肢体不自由児など細やかな対応・支援等が要求される障害児学級に対して介助員を配し、障害児教育の充実を図りました。今後も対応が必要になる児童が増加している状況をふまえ介助員の適切な配置につとめていきます。				

〔障害児学級児童介助費〕 68,375,412円
 〔障害児学級一般教材備品費〕 4,147,838円 (国庫支出金 1,189,000円)

目的	学校図書館の整備				
指標	学校図書館 図書標準達成校	目標	13校	実績	11校 (15年度 6校)
説明	学校図書について、本市は平成13年度から15年度に文部科学省の「学校図書館資源共有型モデル地域事業」の指定をうけ、市内の学校図書館のネットワークシステムの整備を行いました。このシステム整備にあたり学校図書の登録管理を更新する際、使用に耐えない古い書籍等を処分したため、一時的に学校図書館図書標準に対する整備率が低下することになりましたが、今後も蔵書の充実に取り組みでいきます。 「学校図書館図書標準」:学級数に応じて整備すべき蔵書の標準として国が定めたもの				

〔学校図書館図書整備事業費〕 27,688,244円

その他経費

〔教材・教具整備費〕 24,492,643円
 ・一般教材・教具(ミシン、デジカメ等) 20,435,612円
 ・理科教育振興備品(顕微鏡等) 4,057,031円 (国庫支出金 1,059,000円)
 〔要保護準要保護児童就学援助費〕 93,834,957円 (国庫支出金 19,671,267円)
 〔障害児教育就学奨励費〕 5,012,012円 (国庫支出金 1,960,066円)

目3 学校建設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
644,407,641円	643,630,871円	0円	776,770円

(教育施設課)

目的	学校施設の充実				
指標	(校舎増築) 整備校数	目標	建物リース 1校	実績	建物リース(新規) 1校 建物リース(継続) 1校 特別教室を普通教室 に改修

					(3教室確保) (15年度 校舎増築 2校 建物リース1校)
説明	【校舎増築】教室不足となる海蔵小学校については仮設校舎(3教室)のリースをおこない平成17年度の増築設計、18年度の本校舎増築までの対応をしました。また、仮設校舎の解消として常磐小学校において、平成17年度の増築設計、18年度の本校舎増築まで仮設校舎(2教室)のリース延長を行いました。 前年度の常磐西小学校増築事業の関連で特別教室を普通教室3室に改修し、教室の確保を行いました。				

〔その他施設整備費〕 25,775,400円

目的	安全・安心の施設整備				
指標	整備率	目標	(給食室改修) 63%	実績	63% (15年度 54%)
			(バリアフリー化整備) 70%		70% (15年度 60%)
			(校舎・体育館耐震補強整備) 69%		69% (15年度 43%)
	整備校数		(防犯カメラ整備) 28校		29校 (15年度11校)
説明	<p>【給食室改修】学校給食の安全のため、区域差別化のための間仕切、床排水の改修、食品庫設置、配膳室の空調設置等の工事を常磐小学校、常磐西小学校、小山田小にて施工し、なかよし給食のための改修工事を高花平小で施工しました。これにより、衛生管理強化改修整備率を54%から63%にし目標どおり執行しました。</p> <p>【バリアフリー化整備】身障者、健常者が共に学べ、円滑に学校生活をおくれる環境づくりのため、身障者用トイレ設置、階段・廊下手摺の設置、出入口段差解消スロープの設置等の工事を笹川東小学校、泊山小学校、河原田小学校、桜小学校にて施工し、整備率を60%から70%に引き上げ計画どおり執行しました。</p> <p>【校舎・体育館耐震補強整備】非常時の学校施設の安全のため、耐震性能を高めるための鉄筋コンクリート壁の増設、鉄骨筋交の増設、内部改修等の工事を、校舎については下野小学校、四郷小学校、泊山小学校、桜小学校、河原田小学校、常磐西小学校、塩浜小学校にて施工し、体育館については笹川西小学校、中部西小学校、三重西小学校、桜小学校、下野小学校、常磐小学校にて施工し、整備率を43%から69%にし計画どおり執行しました。</p> <p>【安全・防犯対策整備】安全対策のため、防犯カメラを29校(楠小学校を含む)に設置し、防犯カメラ設置率を100%としました。</p>				

〔給食室改修費〕 115,786,650円
 〔バリアフリー化施設整備費〕 92,540,160円 (市債 69,600,000円)
 〔耐震補強事業費〕 200,890,410円 (国庫支出金 42,470,000円)
 〔その他施設整備費〕 126,036,750円
 ・下野小体育館火災復旧 79,976,400円
 ・防犯カメラ設置 46,060,350円

目的	快適環境づくり				
指標	空調設備整備校数	目標	10校	実績	10校 (15年度 13校)

〔その他施設整備費〕 25,013,100円

その他経費

〔その他施設整備費〕 40,188,593円
 ・川島小学校緊急車両進入路整備 14,280,000円
 ・消火栓ホース購入費 1,031,993円

- ・その他 24,876,600円
- 〔校舎等譲受費〕 9,529,620円
- 〔事業事務費〕 7,870,188円
 - ・一般職給 1人 5,018,286円
 - ・その他事務費 2,851,902円

項3 中学校費
目1 学校管理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
496,074,000円	477,866,499円		18,207,501円

〔嘱託職給〕 21人 66,737,843円

(教育総務課)

- 〔学校管理運営費〕 11,887,862円
 - ・一般管理運営費(事務補助及び用務員賃金等)

(学校教育課)

目的	健康診断の実施				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.5% (15年度 99.2%)
説明	健康診断については、学校保健法に基づく心臓、検便、検尿等、毎年学校医、歯科医等の検診により、生徒の健康維持、管理に努めています。16年度の受診率は99.5%となっており、今後ともほぼ100%の受診率を確保することで生徒の健康維持、管理に努めます。				

- 〔非常勤職員報酬〕 22,119,134円
 - ・校医 24人 11,328,477円
 - ・歯科医 24人 8,792,798円
 - ・薬剤師 22人 1,997,859円
- 〔学校保健衛生管理費〕 15,191,352円
 - ・生徒健康診断費

その他経費

- 〔学校管理運営費〕 156,730,598円
 - ・一般管理運営費
光熱水費等経常経費
- 〔学校管理備品整備費〕 5,799,040円
 - ・一般備品(印刷機、プログラムチャイム等管理備品費) 5,133,045円
 - ・一般保健室備品 665,995円
- 〔学校保健衛生管理費〕 7,755,216円
 - ・教職員健康診断費 4,794,132円
 - ・一般管理運営費(保健用消耗品等) 2,961,084円
- 〔学校給食管理運営費〕 45,713円
 - ・一般管理運営費
- 〔修学旅行引率事業費補助金〕 2,169,530円
- 〔負担金〕 8,981,307円
 - ・学校災害賠償補償保険料等 775,567円
 - ・日本体育学校健康センター共済掛金 7,182,110円 (その他特財 3,142,020円)
 - ・三重県学校保健会 123,990円
 - ・全日本中学校長会等 899,640円

(教育施設課)

目的	教育施設の適正な維持管理・補修				
指標	緊急工事率	目標	23%	実績	25% (15年度 35%)
説明	施設の維持管理については、適切な維持管理補修等を十分おこなうことで、「緊急工事」の発生を少しでも抑えることができることから、施設の保守点検、清掃管理等を定期的に行うとともに、適切な補修改修を計画的に施工するなど施設設備の適正な維持管理整備に努めました。しかしながら、経年による老朽化が進むなか、施設設備の全面更新は予算的にもなかなか困難なこともあり、緊急修繕を目標まで減少させることはできませんでした。今後、優先度等を勘案しながら予算の効率運用に心がけ、適正維持管理の執行に努めます。				

〔学校管理運営費〕	170,783,944円
・施設維持管理費	46,231,477円
・施設補修費	124,552,467円

その他経費

〔学校管理運営費〕	9,001,105円	(その他特財	179,390円)
・一般管理運営費(土地使用料)			

(指導課)**その他経費**

〔学校管理運営費〕	588,780円
・一般管理運営費(修学旅行及び自然教室実施時の代替養護職員の賃金)	

目2 教育振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
252,436,000円	244,064,290円		8,371,710円

(指導課)

目的	小中学校教育の充実				
指標	自然教室実施調査結果	目標	自然教室の目標達成度80%以上	実績	自然教室の目標達成度84% (15年度 83%)
説明	中学校1・2年生を対象に自然観察や飯盒炊さん、里山保全、スキー等豊かな自然環境の中での活動を通じて、自然にふれる楽しさ、また集団生活を通じて仲間どうしのふれあいを深める等、各校の自然教室の目標達成度は84%となっています。今後、自然教室をさらに有意義なものとするために、教師の指導技術力や指導体制、企画面等で自然教室のあるべき姿やねらいをふまえた見直しも必要になってきています。				

〔障害児学級費〕	278,214円
・連合合宿費	
〔自然教室事業費〕	9,898,495円
〔一般経費〕	3,582,060円
・教育振興一般経費(QU用紙等)	352,750円
・教育振興一般経費(進路指導検査診断委託料)	
	3,229,310円

(学校教育課)

目的	基礎学力の充実(市単独事業による講師採用の充実)				
指標	講師による授業時間数	目標	28,000 時間	実績	26,118 時間 (15年度 5,932 時間)
説明	基礎学力の向上ときめ細やかな学習指導を図ることを目的として平成14年度から開始した事業で、多人数学級がある学校、学級数の多い学校に対して講師を配置しました。16年度は目標を下回る結果となりましたが、15年度との比較では飛躍的な授業時間数				

	の伸びとなりました。生徒には授業態度に落ち着きが見られるなど、学習環境の改善が図られる一方で、講師の採用、配置に要する事務量の増加への対応や講師の質の維持・向上等が今後の課題となっています。
〔基礎学力充実教員加配事業〕	68,260,505円

目的	障害児学級の介助員の充実				
指標	介助員の人数	目標	22人	実績	21人 (15年度 21人)
説明	多動性の情緒障害児、肢体不自由児など細やかな対応、支援等が要求される障害児学級に対して介助員を配し、障害児教育の充実を図りました。今後も対応が必要になる児童が増加している状況をふまえ介助員の適切な配置につとめていきます。				
	〔障害児学級生徒介助費〕	22,976,445円			
	〔障害児学級一般教材備品費〕	2,129,775円 (国庫支出金 669,000円)			

目的	学校図書館の整備				
指標	学校図書館 図書標準達成校	目標	2校	実績	0校 (15年度 0校)
説明	学校図書について、本市は平成13年度から15年度に文部科学省の「学校図書館資源共有型モデル地域事業」の指定を受け、市内の学校図書館のネットワークシステムの整備を行いました。このシステム整備にあたり学校図書の登録管理を更新する際、使用に耐えない古い書籍等を処分したため、一時的に学校図書館図書標準に対する整備率が低下することになりましたが、今後も蔵書の充実に取り組んでいきます。 「学校図書館図書標準」:学級数に応じて整備すべき蔵書の標準として国が定めたもの				
	〔学校図書館図書整備事業費〕	20,277,970円			

その他経費

〔教材・教具整備費〕	19,402,659円		
・一般教材・教具(デジカメ、クラブ用品等)	15,971,314円		
・理科教育振興備品(顕微鏡等)	3,431,345円	(国庫支出金	900,000円)
〔要保護準要保護生徒就学援助費〕	44,573,667円	(国庫支出金	8,914,733円)
〔障害児教育就学奨励費〕	2,356,449円	(国庫支出金	706,934円)

目3 学校建設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
320,075,363円	319,905,815円		169,548円

(教育施設課)

目的	安全安心の施設整備				
指標	整備率	目標	バリアフリー化整備) 72%	実績	72% (15年度 63%)
			(校舎・体育館耐震補強整備) 60%		60% (15年度37%)
	整備校数		(防犯カメラ整備) 0		1校 (15年度0)
説明	【バリアフリー化整備】身障者、健常者が共に学べ、円滑に学校生活をおくれる環境づくりのため、身障者用トイレ設置、階段・廊下手摺の設置、出入口段差解消スロープの設置等の工事を朝明中学校、西陵中学校にて施工し、整備率を63%から72%にし計画ど				

おり執行しました。
【校舎・体育館耐震補強整備】非常時の学校施設の安全のため、耐震性能を高めるための鉄筋コンクリート壁の増設、鉄骨筋交の増設、内部改修等の工事を校舎については朝明中学校、三滝中学校、常磐中学校にて施工し、体育館については朝明中学校、保々中学校、西朝明中学校、塩浜中学校にて施工し、整備率を37%から60%にし計画どおり執行しました。
【安全・防犯対策整備】安全対策のため、防犯カメラを楠中学校に設置し、防犯カメラ設置率を100%としました。

〔バリアフリー化施設整備費〕 66,411,450円 (市債 44,400,000円)
 〔耐震補強事業費〕 140,917,140円 (国庫支出金 28,245,000円)
 〔その他施設整備費〕防犯カメラ設置 1,208,550円

その他経費

〔その他施設整備費〕 26,224,295円
 ・消火栓ホース購入費 3,476,308円
 ・プール補修費 11,544,487円
 ・その他 11,203,500円
 〔校舎等譲受費〕 2,561,840円
 〔公共用地取得事業費〕 71,680,043円 (その他特財 7,551,229円)
 〔事業事務費〕 10,902,497円
 ・一般職給 1人 9,431,163円
 ・その他事務費 1,471,334円

項4 幼稚園費
 目1 幼稚園費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
995,760,779円	989,038,330円		6,722,449円

〔一般職給〕 526,471,378円
 ・一般職給 82人 514,807,221円
 ・再任用職給 5人 11,664,157円
 〔嘱託職給〕 18人 59,330,277円

(教育総務課)

〔園管理運営費〕 131,297,866円 (その他特財 94,720,205円)
 ・一般管理運営費(事務補助及び用務員賃金等)

目的	私立学校の教育条件の維持向上及び経営の健全化の支援				
指標	官民保育料格差	目標	官民保育料格差縮減	実績	75,566円 (15年度 78,069円)
説明	私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、世帯の所得状況に応じた保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るため、国の支援を受け、私立幼稚園の入園料・保育料の補助を行いました。				

〔私立幼稚園就園奨励費補助金〕 155,164,500円 (国庫支出金 40,810,000円)

補助対象者 2,215人

平成16年度市町村民税	年間補助限度額	補助対象者	合計
非課税世帯 (生活保護世帯を含む)	第1子 137,700円	119人	132人
	第2子 196,000円	13人	
	第3子 253,000円	0人	

所得割非課税世帯	第1子 104,900円 第2子 176,000円 第3子 246,000円	73人 9人 0人	82人
所得割課税の額が 8,800円以下の世帯	第1子 80,400円 第2子 161,000円 第3子 241,000円	111人 13人 0人	124人
所得割課税の額が 102,100円以下の世帯	第1子 56,500円 第2子 147,000円 第3子 237,000円	1,703人 173人 1人	1,877人

(学校教育課)

目的	健康診断の実施				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.0 % (15年度 91.8%)
説明	健康診断については、学校保健法に基づく心臓、検便、検尿等、毎年学校医、歯科医等の検診により、園児の健康維持、管理に努めています。16年度の受診率は99.0%となっており、今後ともほぼ100%の受診率を確保することで園児の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕	13,110,192円
・校医 24人	6,034,836円
・歯科医 24人	5,695,356円
・薬剤師 24人	1,380,000円
〔園保健衛生管理費〕	602,300円
・園児健康診断費	

その他経費

〔園管理運営費〕	29,374,995円	〔その他特財 29,132,995円〕 〔国庫支出金 242,000円〕
・一般管理運営費(光熱水費等経常経費)		
〔園管理備品整備費〕	6,563,987円	
・一般備品整備費		
〔教材・教具整備費〕	881,999円	
・保育用教材・教具		
〔園保健衛生管理費〕	2,122,736円	
・一般管理運営費(保健備品等)		
〔教育振興一般経費〕	6,232,668円	
・保育用消耗品		
〔負担金〕	895,862円	
・学校災害賠償補償保険料等	144,962円	
・日本体育学校健康センター共済掛金	437,485円	(その他特財 192,790円)
・全国国公立幼稚園長会等	291,275円	
・三重県学校保健会負担金	22,140円	

(教育施設課)

目的	教育施設の適正な維持管理・補修				
指標	緊急工事率	目標	10%	実績	9% (15年度 15%)
説明	施設の維持管理については、適切な維持管理補修等を十分おこなうこと、「緊急工事」の発生を少しでも抑えることができることから、施設の保守点検、清掃管理等を定期的に行うとともに、適切な補修改修を計画的に施工するなど施設設備の適正な維持管理整備に努め、緊急修繕の目標を概ね達成することができました。今後も優先度等を勘案しながら予算の効率運用に心がけ、適正維持管理の執行に努めます。				

〔園管理運営費〕	28,732,325円
・施設維持管理費	7,862,799円
・施設補修費	20,869,526円
〔施設整備事業費〕	27,464,850円

- ・園舎等整備費 22,505,700円
- ・その他施設整備費 4,959,150円

その他経費

- 〔園管理運営費〕 792,395円 (その他特財 179,390円)
- ・一般管理運営費(土地使用料)

項5 社会教育費
目1 社会教育総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
950,040,725円	942,313,681円		7,727,044円

- 〔一般職給〕 734,923,242円
- ・一般職給 77人 731,711,044円
- ・再任用職給 1人 3,212,198円
- 〔嘱託職給〕 22人 80,458,260円

(市民文化課〔旧 生涯学習課〕)

目的	ライフステージに応じた学習機会の提供(市民大学)				
指標	延参加者数・希望者数	目標	550人	実績	530人 (15年度 521人)
説明	<p>市民への学習機会を提供するため、市民大学一般クラスとして8コースを開設しました。その企画運営については、3コースを公募による市民団体、4コースを大学による企画運営とするなど、市民との協同による取り組みを進めました。</p> <p>併せて、高齢者が生活に生きがいをもち、社会参加の意欲を高めるための学習機会として熟年クラスを開設したほか、市職員が出向いてのいきいき出前講座(延354回)の紹介に努めました。</p> <p>熟年クラスは定員を超える160人の希望者がありましたが、一般クラスでは参加者の少ないコースがあり合計では目標を下回りました。</p>				

- 〔市民大学一般クラス経費〕 2,325,089円 (その他特財 1,290,500円)
- 〔市民大学熟年クラス経費〕 3,464,271円 (その他特財 1,722,000円)

市民大学(一般クラス)実施状況

一般クラス	講座内容	回数	受講者数
三重大学企画	「いま、医療を考える」	6	66
四日市大学コミュニティカレッジ企画運営	「世界の中の日本」	6	101
	「身近な自然環境を考える」	6	19
	「音の不思議とCD制作現場体験」	6	27
市民団体企画運営	「まちづくり(地域づくり)リーダー養成講座」	7	17
	「心の健康講座」	6	94
	「実践カウンセリング入門講座」	8	25
人権コース	「私の思いを分かろうとするあなたは温かい」	5	21

市民大学(熟年クラス)実施状況

熟年クラス	講座内容	回数	修了者数
教養課程	郷土、健康、人権等に関する講義、クラブ活動、社会見学、文化祭等	25	121
専攻課程	生き方、古典文学・芸能、人権、ボランティア等に関する講義、クラブ活動、社会見学、文化祭等	25	111

入学式 講師 森 豊 御在所ロープウェイ(株)営業部課長
修了式 講師 中野靖彦 愛知教育大学教授

目的	ライフステージに応じた学習機会の提供（なや学習センターの利用）				
指標	年間利用件数	目標	2,200件	実績	2,209件 (15年度 2,704件)
説明	自主学習グループや市民活動団体に活動の場を提供しました。 利用件数は目標どおり2,209件で延べ28,200人の利用となりました。				
	〔なや学習センター管理運営費〕		8,979,162円	（その他特財	2,350,780円）
	〔なや学習センター工学演習室維持管理費〕		339,809円	（その他特財	281,400円）

目的	市民主体の学習情報の発信				
指標	提供情報件数	目標	500件	実績	144回（件/月） (15年度 0回)
説明	各種学習情報を提供するため、主催者が学習情報を書き込む方式のホームページを提供しました。情報把握範囲が拡大し、民間が実施する講座等の情報掲載が今後さらに充実する見込みです。また、市民ボランティア「まなぼうや」記者の取材編集による情報誌を1回発行しました。学習情報掲載件数（144件）は、3月度1ヶ月分の実績となりました。				
	〔生涯学習情報提供事業費〕		3,280,390円		

その他経費

〔生涯学習一般経費（課臨時職員賃金含む）〕 3,164,578円

（社会教育課〔旧 生涯学習課〕）

〔委員報酬〕 126,400円

・社会教育委員 13人

社会教育委員会において「新しい社会に適應した地域社会づくりをめざして」をテーマに2回開催し、組織機構の見直しについて議論が行われ、17年度に機構改革を行いました。

〔社会教育指導者研修費〕 346,636円

社会教育委員、社会教育推進員、地域社会づくり担当職員等の研修

その他経費

〔子ども読書活動推進事業〕 311,230円

四日市市子どもの読書活動推進計画を策定

〔成人の日行事開催費〕 2,882,919円

参加者数 約3,200人

〔各種団体活動費〕 294,500円

・四日市市PTA連絡協議会運営費補助金等

〔負担金〕 60,000円

・三重県社会教育委員連絡協議会等

（社会教育課〔旧 文化課〕）

目的	文化財の保護と活用				
指標	新規指定件数 文化財説明看板の 更新・新設件数	目標	指定 1件 更新・新設 = 状 況把握の上適宜	実績	指定 2件（15年度1件） 新設2件（15年度1件） 更新 1件（15年度4件）
説明	市にとって重要な文化遺産を保存するため、新たに、暁覚寺に安置されている「釈迦如来坐像」と安性寺に安置されている「十一面観音菩薩立像」を市の有形文化財に指定しました。また文化財看板については、新規指定分の新設と老朽化した1件の更新を行い市民の文化財の学習や見学の一助とし、文化財の保護と活用を図りました。				

〔委員報酬〕 71,100円

・文化財保護審議会委員 12人

〔文化財維持管理事業費〕 4,301,752円

・文化財維持管理事業 2,876,393円

文化財パトロール調査員による実態把握や

史跡等における樹木剪定や草刈など

・ふるさとの道維持管理事業 1,097,759円

旧四郷出張所等の清掃や浄化槽保守点検など

・文化財説明看板新設・更新 327,600円

- 〔文化財保存対策事業費〕 5,292,890円 (その他特財 3,876,800円)
- ・御池沼沢植物群落保存対策事業費 1,101,090円
 - ・御池沼沢植物群落環境整備事業 299,250円
植物への水分供給のためのポンプ配電盤取替
 - ・指定文化財保存事業費補助金 3,876,800円
地元保存会が実施した西日野大念佛の太鼓修理、南納屋町鯨船山車収蔵庫改築
観音寺(垂坂町)の慈恵大師を安置する収蔵庫の改築
 - ・指定文化財記録保存事業費 15,750円
指定文化財・登録文化財ホームページ更新
- 〔負担金〕
- ・全国近代化遺産活用連絡協議会負担金 20,000円

目的	埋蔵文化財の保護と活用				
指標	久留倍遺跡発掘面積 出土品の常設展示箇所数	目標	5,000㎡ 2箇所 (市庁舎 整理作業所)	実績	1,200㎡ (15年度15,500㎡) 2箇所 (市庁舎・整理作業所)
説明	埋蔵文化財を保護するため、国道1号北勢バイパス建設に伴う大矢知・久留倍遺跡について、国土交通省から委託を受けて、引き続き1,200㎡の発掘調査を行いました。当初発掘予定面積は5,000㎡でしたが、保存協議が整ったことによる北勢バイパスのルート変更に伴い発掘面積が減少し、目標達成に至りませんでした。また、市庁舎とあわせ、文化財整理作業所でも常時展示・公開を行うとともに博物館でも夏休みに市内出土品の展覧会を開き、埋蔵文化財の活用を図りました。				

- 〔埋蔵文化財保護事業費〕 10,141,489円 (その他特財 5,100円)
埋蔵文化財包蔵地内の開発と保護の調整
- 〔埋蔵文化財発掘調査受託事業〕 64,222,156円 (その他特財 64,222,156円)
- ・一般職給 4人 30,259,021円
 - ・嘱託職給 1人 3,320,000円
 - ・発掘調査費 30,643,135円

(人権・同和課 [旧 人権・同和教育課])

目的	市内の各地域での人権教育・啓発の自主的活動の支援・充実を図る。				
指標	人権・同推協自主事業回数	目標	50回	実績	59回 (15年度 59回)
説明	各地域での人権教育・啓発活動を充実させるため、地域の人権活動を行う各地区人権・同和教育推進協議会へ業務委託を行うとともに、学習内容の相談・情報提供などで各地区の自主事業を支援しました。各地区自主事業への市民参加者数は、10,289人となりました。				

- 〔自主人権活動支援・充実事業費〕
- ・地区人権・同和教育推進業務委託事業費 4,421,200円

その他経費

- 〔実態把握・計画立案事業費〕(方針と施策、運営委員会) 387,424円
- 〔人権教育学習機会提供・充実事業費〕(社会人権教育講座、啓発資料、市民派遣、市職員派遣ほか) 1,698,000円
- 〔人権教育・学習環境整備事業費〕(学習ビデオ、教育集会所運営・管理) 6,769,879円
- 〔自主人権活動支援・充実事業費〕(四同研、神前柔道教室) 3,114,342円
- 〔一般経費〕(消耗品、駐車場使用料ほか) 469,239円

目 2 文化振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
412,766,000円	408,529,303円		4,236,697円

(市民文化課 [旧 文化課])

目的	市民が芸術・文化活動を育てる環境を整備し、鑑賞する機会を提供する				
指標	文化会館入場者数	目標	530,000人	実績	486,489人
	地域文化団体等の支援数		15件		13件
説明	文化会館・茶室の管理運営を(財)四日市市文化振興財団に委託し、市民の文化活動の発表と芸術文化の鑑賞の場を提供しました。文化会館の入場者については、集客力のある自主事業の減少の影響もあり、目標を下回りました。また、「内部地区ハートフルコンサート実行委員会」など地域等の文化団体の活動を支援しました。件数は目標を下回りましたが、内容的には充実してきています。				

〔文化事業開催費〕	8,397,553円	
・芸術鑑賞会等	1,300,000円	
・美術展覧会開催経費	3,017,553円	
・市民文化祭等	4,080,000円	
〔文化振興育成事業費〕	15,344,950円	
・文化振興財団自主事業補助金	12,000,000円	
・文化団体事業開催費補助金	1,384,000円	(その他特財 1,384,000円)
・文化功労者表彰経費	131,761円	
・文化活動団体育成事業費等	1,498,000円	
・文化振興基金積立金	40,611円	
(基金の平成16年3月末の現在高)	230,196,143円)	
・文化振興ビジョン調査事業費	290,578円	
〔施設管理運営費〕	334,325,019円	
・文化会館・茶室	318,111,267円	(その他特財 100,149,110円)
・一般経費	16,213,752円	
〔文化会館施設整備事業費〕	49,965,825円	(県支出金 2,197,000円)

文化会館施設利用状況

施設名	開館日数(A)	利用日数(B)	利用件数	利用率 B/A × 100
第1ホール	273日	191日	153件	70.0%
第2ホール	273	216	195	79.1
第3ホール	316	283	385	89.6
第4ホール	317	307	669	96.8
第1展示室	316	235	91	74.4
第3展示室	316	240	78	75.9
第4展示室	316	193	69	61.1
第1会議室	317	236	303	74.4
第2会議室	317	297	586	93.7
第3会議室	317	299	537	94.3
和会議室	317	284	595	89.6

第1リハーサル室	317	305	569	96.2
第2リハーサル室	317	309	651	97.5
第1練習室	317	288	439	90.9
第2練習室	317	306	625	96.5
第3練習室	317	296	541	93.4

催物

区分	洋楽	邦楽	歌謡	軽音楽	洋舞	日舞	演劇	演芸	芸能	映画	講演	式典	複合	その他
第1ホール	22	0	13	30	7	4	17	3	3	5	26	8	13	2
第2ホール	39	9	4	6	9	13	10	1	2	11	40	15	11	25

茶室「泗翠庵」(施設別利用状況)

区分	広間及び次の間	小間	計	利用人員	立礼席利用人員	使用料収入
利用件数(件)A	125	74	199	延 2,316人	延 6,230人	803,250円
利用日数(日)B	84	20	104			
開館日数(日)C	309	309	618			
利用率(%)B/C	27.2	6.5				

目3 青少年教育費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
79,782,000円	77,610,849円		2,171,151円

(社会教育課[旧 生涯学習課])

目的	青少年の健全育成				
指標	地区市民センター で開催された青少年 教育及び家庭教育の 講座の参加者数 青少年ふれあいイ ベントボランティア 数	目標	11,300人 110人	実績	12,464人 (15年度 11,729人) 94人 (15年度 93人)
説明	<p>青少年の健全育成には、家庭教育と青少年育成活動が重要であり、家庭教育講座の受講が学習の場になっているとともに、イベントボランティアの参加が青年リーダーの育成につながっています。それらの平成16年度実績は、家庭教育講座受講者数で増加となり、またボランティア参加者数では横ばいであるものの、新規参加者が大半となっており、概ね目標を達成しました。</p> <p>事務事業の推進にあたっては、家庭や地域社会の教育力を高めることが重要であり、家庭教育の向上支援、地域青少年育成活動の促進、そして指導者・育成者及び青少年リーダーの育成の3つを視点に、学童保育事業費や子ども広場整備事業費の補助、子ども会・育成者連絡協議会や青少年育成市民会議などの青少年関係団体の支援など、各種の取り組みを進めました。</p> <p>子どもと若者の居場所づくり事業に取り組むとともに、非行防止のための補導活動、</p>				

相談活動、啓発活動に努めました。また補導員の資質の向上のための研修事業を行いました。

〔委員報酬〕	110,600円		
・少年センター運営協議会委員 10人			
〔青少年健全育成事業費〕	66,375,546円		
・学童保育事業費補助金	54,849,400円	(県支出金 29,300,000円)	
海蔵・笹川・日永・桜・常磐・常磐西・内部・高花平・内部東・四郷・川島・下野・県・富洲原 浜田・大矢知・泊山・富田・三重・河原田・三重西・楠 計22カ所			
・青少年ボランティア活動促進事業費	975,931円		
青少年健全育成強調月間期間内に、青少年イベントボランティア「汗かき隊」94名が自らの企画運営による親子ふれあいイベントを実施(参加者6,000人)			
・青少年健全育成施設(子ども広場)整備費補助金	6,428,000円		
新設、設備補修・増設等70カ所(市内計213カ所)			
・子ども緊急避難所設置推進事業費	426,300円		
「こどもをまもるいえ」の設置を推進(市内33団体10,347カ所)			
・体験活動ボランティア支援事業	498,650円	(県支出金 493,000円)	
県委託事業として青少年の体験活動やボランティア活動に関する情報を収集及び発信する「体験活動・ボランティア活動支援センター」を設置			
・子どもと若者の居場所づくり事業費	3,197,265円		
勤労青少年ホームにおいて、毎週土・日曜日に開所(98日、利用者数延べ2,086人)			
〔家庭教育振興事業費〕	2,523,150円		
・家庭教育講演会開催費	374,150円		
・家庭教育講座委託事業費	1,230,000円		
82の幼稚園・小中学校PTAへ委託事業として家庭教育講座を実施(年125回)			
・子どもセンター事業費	919,000円		
親子ふれあい体験情報や家庭教育の内容などを収録した情報誌「子どもセンター」を発行(年3回)			
〔青少年育成研修費〕	558,120円		
・ジュニアリーダー等養成講習会			
〔青少年相談事業費〕	429,560円		
〔少年センター一般経費〕	3,375,906円	(県支出金 400,000円)	

青少年の補導状況

補導少年延人数					相談回数		
小学生	中学生	高校生	その他	計	面接	電話	計
74人 (14.8%)	85人 (17.0%)	195人 (38.9%)	147人 (29.3%)	501人 (100%)	13回	57回	70回

〔補助金〕	3,490,000円
・子ども会育成者連絡協議会	2,000,000円
・青少年育成市民会議	1,300,000円
・四日市海洋少年団	95,000円
・ホーイカト・カールカト四日市地区協議会	95,000円

その他経費

〔負担金〕	290,000円
・三四地区広域補導協議会	275,000円
・三重県青少年補導センター連絡協議会	15,000円

目4 公民館費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,442,000円	16,666,356円		3,775,644円

(市民文化課〔旧 生涯学習課〕)

目的	市民が主体的にまちづくりに参画するために必要な生涯学習活動を支援する				
指標	施設利用数(地区市民センター)	目標	30,000回	実績	29,555回 (15年度 26,385回)
説明	地域における課題の解決に向け、地域団体の協力を得ながら講座等を実施したほか、地域社会づくり及び生涯学習推進の視点から、23地区市民センターにおける学習の場を提供しました。貸館については、平成16年2月分より利用者負担の観点から減免規定を見直しましたが、利用者の理解を得るように努めた結果サークル活動人数も前年度比96.2%に留まり、昨年度までと同様に活動の場を提供しました。				

〔生涯学習振興事業費〕 5,338,730円

地区市民センター事業活動状況

講座実施状況

講座対象	講座回数	参加人数
青少年	56	2,757
女性	30	639
成人	131	3,852
高齢者	52	3,150
リーダー研修	35	1690
全住民	139	3,719
スポーツ・レクリエーション	30	2,090
家庭教育	155	9,707
小計	628	27,604

施設利用状況

活動内容	回数	参加人数
地区市民センター主催事業(講座)	933	27,747
サークル活動	20,800	238,236
地域づくり活動等	7,822	181,943
合計	29,555	447,926

地域づくり活動とは
地域社会づくり委員会、自治会、社協
同推協、青少協、婦人会、老人会
民生委員会などの活動

その他経費

〔負担金〕 393,400円

- ・三重県公民館連絡協議会等
- ・公民館一般経費 1,598,421円

(社会教育課〔旧 生涯学習課〕)

〔学校開放事業費〕 1,170,000円 (その他特財 236,150円)
地域社会づくりの観点から行った学校施設(教室)開放

(楠プラザ)

〔楠公民館管理運営費〕 8,165,805円 (その他特財 130,172円)

目5 図書館費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
148,687,000円	144,706,291円		3,980,709円

(図書館)

目的	市民の多様な学習要望に応じ、使い易く居心地の良い図書館を目指す				
指標	図書館利用登録者数	目標	98,000人	実績	96,568人 (15年度90,807人)
	図書館利用者数 (本館入館者数)		279,000人		293,347人 (15年度274,510人)
	貸出冊数		957,000冊		862,024冊 (15年度871,989冊)
説明	図書館の利用者数の増加が、市民の読書活動の促進に大きく寄与するとの視点から、あらゆる機会を捉え、図書館の積極的な利用の普及啓発に努めました。このことから、図書館利用者数は目標値を上回りましたが、図書館利用登録者数及び貸出冊数は目標値には及びませんでした。このことについては、利用者にとって、貸出希望図書が図書館全所蔵図書の割合の中で減少したことによるものと思われるため、今後は「声のポスト」やリクエスト図書など、利用者要望にできるだけ沿った購入図書の選定に努めます。また、図書館の将来のあり方を示した「市民に求められる図書館検討懇話会」の提言にあるように、新たなサービスの導入や図書館主催の各種行事の開催を行っていきます。				

〔図書館維持管理費〕 43,500,185円 (その他特財 420,310円)

図書館施設管理委託

〔図書館施設整備事業費〕 210,630円

閲覧用椅子の購入費

〔図書資料整備費〕 26,918,282円

〔人権啓発拠点事業推進事業費〕 743,675円

図書館資料の購入費

〔図書館運営費〕 6,589,184円

各種講座の実施等

〔図書管理システム運営費〕 35,363,664円

図書館情報システム構成機器等借上げ及び保守委託

インターネット予約プログラム作成業務委託等

〔移動図書館運転業務委託事業費〕 5,079,770円

移動図書館車運転業務の委託等

〔図書館運営業務整備事業〕 10,740,950円

図書貸出等業務委託

自動貸出機借上げ・移動式書架借上げ

〔移動図書館整備事業費〕 13,778,250円

移動図書館車(かもめ3世号)購入

〔市民に求められる図書館検討事業費〕 1,490,201円

市民に求められる図書館検討懇話会経費

及び市民アンケート調査実施

その他経費

負担金・委員報酬 291,500円

図書資料状況

図書区分	15年度末蔵書冊数	受入冊数	払出冊数	16年度末蔵書冊数	
成人図書	251,491	8,948	4,544	255,895	
児童用図書	64,662	2,885	622	66,925	
児童用紙芝居	1,102	59	1	1,160	
点字資料	5,561	84	0	5,645	
録音資料	12,217	335	407	12,145	
計	335,033	12,311	5,574	341,770	
移動図書館	成人図書	27,757	1,739	1,016	28,480
	児童用図書	17,318	581	423	17,476
	児童紙芝居	782	1	2	781
	計	45,857	2,321	1,441	46,737
合計	380,890	14,632	7,015	388,507	

利用状況

	開館日数	利用者数	登録者数	貸出者数	貸出冊数	相談件数
平成15年度	275	274,510	90,807	166,108	871,989	5,626
平成16年度	274	293,347	96,568	164,311	862,024	5,140

目6 少年自然の家費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,718,000円	55,684,384円		2,033,616円

(少年自然の家)

目的	青少年に野外活動を中心とした活動プログラムの提供や指導及び活動の場を提供する				
指標	利用団体数	目標		実績	
			240団体 18,400名		288団体 (15年度 234団体) 23,366名 (15年度 18,648名)
説明	<p>平成16年度は、アジアの自転車競技大会の宿舎になったこと等、例年にない特別な利用がありましたので、目標を大きく上回ることとなりました。</p> <p>主催事業の開催や受け入れ事業を中心に、青少年や市民の方に「ふれあいの森」を利用した活動や自然活動を体験していただき、困難を乗り越える力や仲間との協調の大切さ・家族の絆・自然の不思議さ・仕組みを感じていただいたり、学習していただくことができました。</p> <p>主催事業では、小中学生・家族やグループ・教職員一般を対象に22回の事業を実施し、1,055名の方に参加していただきました。また、受け入れ事業では、自然教室 83校 10,663人、その他団体205団体12,703人(主催事業を含む)に利用していただきました。</p> <p>施設整備においては、秋の大雨による土砂崩れ仮復旧工事を実施したり、館内設備の整備を実施し、利用者が安全・快適に過ごせるよう、施設内外の維持管理・運営に努めました。</p>				

[主催事業費]

992,426円

小・中学生を対象とした事業

11回

アドベンチャースクール	小学5・6年生	80人	5/15~16	登山、野外炊事等
わくわくキッズチャレンジ	小学4年生	80人	6/19~20	野外炊事、キャンプファイア
わくわくキッズチャレンジ	小学4年生	82人	10/16~17	野外炊事、キャンプファイア
ワイルドキャンプ	小学6~中学生	53人	8/10~13	源流探検、野外炊事等
ウインターフェスタ	小学4~6年生	80人	12/25~26	冬の森探検、野外炊事等
ウインターフェスタ	小学4~6年生	80人	1/8~9	冬の森探検、野外炊事等
子ども自然塾	小学4~6年生	40人	5/1 日曜日	初夏に咲く花観察
子ども自然塾	小学4~6年生	41人	7/28 日曜日	夏の雑木林調べ
子ども自然塾	小学4~6年生	38人	11/27 日曜日	ドングリ博士になろう
子ども自然塾	小学4~6年生	26人	2/5 日曜日	冬の森探検
子ども自然塾	小学4~6年生	41人	3/30 日曜日	春の息吹を探そう

家族・グループを対象とした事業

4回

「野山の幸を味わおう」	市内在住家族	93人	4/17 日曜日	自然食材採集・野外炊事
「森の中でテント泊」	市内在住家族	68人	7/10~11	テント泊・川遊び等
「秋と遊ぼう」	市内在住家族	57人	11/6 日曜日	ドングリ観察・クラフト
「冬の森とおもちつき」	市内在住家族	61人	1/22~23	冬の森観察・もちつき等

教職員・一般を対象とした事業

3回

アウトドアセミナー	高校生~一般	44人	8/25 日曜日	沢登り・水辺の自然観察
アウトドアセミナー	高校生~一般	24人	8/27 日曜日	自然観察の指導講習
アウトドアセミナー	高校生~一般	0人	3/26 日曜日	登山指導(積雪中止)
自然教室合同下見会	教職員	26人	5/8, 5/29, 9/11	登山指導・沢登り指導

他に、小学生高学年から一般を対象に、自然の家山クラブを、秋から冬にかけて4回実施。

〔受け入れ事業費〕	42,364,209円	
（施設管理運営費）	39,877,559円	（その他特財 17,862,561円）
・施設修繕費・清掃・保守点検費	15,922,074円	
・その他諸費（光熱水費・燃料費等）	16,785,461円	
・リネン・寝具関係費	7,170,024円	
（施設整備事業費）	2,407,650円	
（委員報酬）	79,000円	
・少年自然の家運営協議会委員	10人	

利用状況

施設 年度	自然の家		キャンプ場		市民広場		合計		利用者内訳	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	市内	市外
12	196	16,593	20	1,759			216	18,352	14,887	3,465
13	186	16,234	44	3,056			230	19,290	14,410	4,880
14	189	15,192	44	2,446			233	17,638	14,344	3,294
15	202	16,903	32	1,745			234	18,648	14,331	4,317
16	219	18,744	41	1,905	28	2,717	288	23,366	16,953	6,413

平成16年度から、キャンプ場と水沢市民広場（利用申請の数）の利用を区分。

〔環境整備費〕	10,693,121円
（水沢市民広場管理運営費）	2,670,530円
（施設管理運営費）	8,022,591円
・臨時職員賃金	2,457,395円
・下草刈委託業務費	598,500円
・工事請負・原材料	4,966,696円

ふれあいの森を利用者が観察や自然体験活動を安全にできるよう、枯れ松の処理や下草刈り・観察路の整備等を実施しました。また、利用者が快適に過ごせるよう、排水ポンプの取替・ボイラーや空調設備の部品取替等を実施しました。

〔活動支援費〕	1,362,330円
（施設管理運営費）	1,362,330円
・臨時職員賃金	1,342,307円
・器具修繕費	20,023円
〔広報活動費〕	221,298円
（施設管理運営費）	221,298円
・印刷製本費	

市内幼・小・中学校、児童生徒へのチラシ配付や市の広報への記事掲載、FMよっかいちでの放送、ホームページの更新等、広報活動を行いました。

その他経費

〔負担金・補助金〕	51,000円
・全国少年自然の家連絡協議会等負担金	40,000円
・青少年教育施設指導系職員専門研修等参加費	11,000円

目7 博物館費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
237,456,000円	213,455,897円		24,000,103円

（博物館）

目的	博物館事業を通じ、生涯学習の機会を提供するとともに、市民の学習成果発表の場を提供する			
指標	来館者数	目標	121,500人	実績
				96,458人 (15年度 99,224人) 1人当たりコスト 3,349円/人

	来館者満足度	80%	(15年度 3,640円/人) 80% (15年度 88%)
説明	<p>より多くの市民に利用していただくことが地域全体の文化の向上につながるとの観点から、多様な分野を取り上げて展覧会や投映などの事業を実施するとともに、内容の充実を図って来館者数の増加に努めましたが、満足度は目標を達成したものの、来館者数は達成することができませんでした。内容が専門的なものは観覧者数が伸びなかった一方で、夏休みの子供向けのものは大勢の観覧者で賑わいました。なるべく幅広い層の要望に応えるとともに、これまで博物館に関心のなかった人も興味を引くような、既存の枠に捕われなない創造的なテーマを開拓し、わかりやすく奥の深い内容としていくよう努めます。</p> <p>また、団体利用については、小学校・幼稚園・保育園との連携を進めて授業や年齢に合わせた展示や投映を実施し、利用団体の増加を果たしました。</p> <p>収支面では、経費節減を進めるとともに、一部の講演会の有料化、外部資金の調達など収入の増加に努めましたが、観覧料収入の減少により、収入全体では前年度を下回りました。今後も来館者増を図り、観覧料収入の増加に努めます。</p>		

〔自主事業費〕 100,113,524円
 ・調査研究事業費 1,699,623円
 ・特別展等開催費 62,179,910円 (その他特財 16,913,870円)

展覧会
特別展

展覧会名	実績額	期間	観覧者数
古代バクトリアの遺宝	20,750,132	4/6～6/20	4,226
木とのふれあいワールド2	10,511,314	7/18～9/5	11,619
2004ポローニャ国際絵本原画展	10,771,719	10/2～10/31	5,930
21世紀の本居宣長	13,726,765	11/16～1/10	3,717
日本の刀	4,648,555	2/19～3/21	4,006
合計	60,408,485円	206日	29,498人

その他事業 1,771,425円
 常設展 開館日数 299日 観覧者数 22,626人

・資料収集保存事業費 16,227,593円
 購入資料 7,271,980円
 歴史資料 53点 2,438,392円
 美術工芸資料 6点 4,833,588円
 <主な購入資料>
 色絵窓山水花鳥文大徳利(古萬古) 3,885,000円
 薫蒸作業 3,099,075円
 (収蔵庫及び展示室の薫蒸、機器の改修等)

・教育普及活動事業費 2,386,505円 (国庫支出金 1,027,582円)
 講座等実施状況

講座名等	回数	参加者数
博物館教室	8	92
子ども博物館教室	20	157
子ども天文教室	8	289
その他	9	531
合計	45回	1,069人

解説ボランティア 登録者数 86人
 教育ボランティア 登録者数 8人

・プラネタリウム運営事業費 15,651,981円 (その他特財 6,460,000円)
 プラネタリウム
 季節番組

番組名	実績額	期間	観覧者数
憧れの南十字星	12,000 (296,140)	4/1～5/30	585 (885)

しまじろうの星空大冒険	12,000 (3,535,090)	(2/21~)	3,042 (4,959)
レジェンド オブ アテネ	447,440	6/5~9/26	1,387
ミッフィーと星のおはなし	3,948,307		7,883
星はすばる	282,514	10/2~1/30	912
ムーミン谷の物語	3,707,188		3,442
2005年土星への旅	1,594,372 (1,909,696)	2/5~3/31 (~5/29)	477 (1,190)
さんびきのこぶた ながれぼしをみた	2,555,360 (2,567,360)		1,591 (3,262)
合計	12,559,181円	278日	19,319人

()内は前年度分又は後年度分を含む。

特別番組

番組名	実績額	回数	観覧者数
宇宙塾	464,245	6	485
生演奏コンサート	628,610	5	648
CDコンサート	31,193	4	461
合計	1,124,048円	15回	1,594人

学習投映番組 投映回数 127回 観覧者数 10,430人(186校園)
 その他投映等 1,968,752円 観覧者数 990人

- ・移動天文車運営事業費 1,967,912円
 きらら号 出動回数 37回 参加者 4,452人
 天文ボランティア 登録者数 46人

- 〔施設管理運営費〕 113,057,773円
- ・博物館・プラネタリウム館一般経費 101,279,871円 (その他特財 2,469,487円)
 主な経費
 清掃警備業務委託 25,717,125円
 設備管理業務委託 19,573,050円
 案内等業務委託 12,131,972円
 - ・プラネタリウム維持管理費 11,777,902円
 主な経費
 プラネタリウム機器保守点検委託 9,135,000円

その他経費

- 〔委員報酬〕
 ・博物館協議会 20人 189,600円
- 〔負担金〕
 ・日本博物館協会等 95,000円

項6 保健体育費

目1 保健体育総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
138,861,133円	138,678,642円		182,491円

- 〔一般職給〕 15人 132,512,364円
 〔嘱託職給〕 2人 5,764,848円

その他経費

- 〔委員報酬〕 158,000円
 ・スポーツ振興審議会委員 14人
- 〔一般経費〕 243,430円
 ・旅費

目2 体育振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,776,000円	62,607,202円		1,168,798円

(スポーツ課)

目的	生涯スポーツの普及・振興				
指標	教室・大会等への参加者数	目標	19,000人/年	実績	18,843人/年 (15年度 18,320人) 1人当たりコスト 3,323円 (15年度 3,128円)
説明	<p>各種スポーツ大会や教室の開催、地域スポーツ活動の場としての学校体育施設の開放、スポーツ団体等の育成を図るための運営費補助等を行い、生涯スポーツの普及・振興に努めました。</p> <p>また、保々地区において総合型地域スポーツクラブを立ち上げるとともに、三重地区において設立に向け、地元との調整を行いました。</p> <p>目標については、概ね達成できましたが、今後は総合型地域スポーツクラブの運営を支援する中で、潜在的なスポーツ人口を掘り起こしていきたい。</p>				

〔スポーツ活動振興事業費〕 15,433,057円
 ・総合型地域スポーツクラブ育成事業費 1,197,083円 (その他特財 672,000円)
 (平成16年度、保々地区に設立)

(少年スポーツ・地域スポーツの振興を図る)

・地域スポーツ活動振興事業費 9,056,326円 (その他特財 2,913,230円)
 ・市民スポーツフェスタ開催事業費 1,192,005円
 ・少年スポーツ活動振興事業費 3,380,951円 (その他特財 485,540円)
 ・スポーツ功労者表彰経費 606,692円

〔学校開放事業費〕 11,286,634円 (その他特財 6,389,120円)

〔補助金〕 26,149,553円

(各種スポーツ団体の育成を図る)

・四日市市体育協会 4,644,000円
 ・三重県中学校体育連盟三泗支部 3,285,000円
 ・四日市市レクリエーション協会 450,000円
 ・四日市市スポーツ少年団 630,000円
 ・四日市市体育指導委員連絡協議会 270,000円
 ・各地区運動広場管理運営団体 1,016,253円
 ・シティロードレース大会実行委員会 1,000,000円
 ・全国大会等開催費 275,000円
 ・全国大会等出場選手激励金等(1,003人) 14,579,300円
 (国際・全国スポーツ大会参加選手を支援するための激励金)

その他経費

〔体育指導委員経費〕 4,478,439円

〔負担金〕 3,248,704円

・三重県体育協会等

〔体育振興一般経費〕 2,010,815円

目3 体育施設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
261,274,000円	251,897,309円	4,833,000円	4,543,691円

〔明許繰越〕

〔運動施設整備事業費〕 4,833,000円

・霞ヶ浦舟艇場浚渫整備工事

(スポーツ課)

目的	スポーツ施設及びスポーツ環境の整備				
指標	スポーツ施設稼働率	目標	51%	実績	49% (15年度 50%) 1人当たりコスト 590円 (15年度 616円)
説明	中央緑地水泳競技場ろ過設備改修工事及び霞ヶ浦舟艇場浚渫整備工事を行いました。市民が快適かつ安全に運動施設を利用できるよう、日常の維持管理に努めました。目標の達成はできませんでしたが、稼働率は施設・種目によって高低差があるため、多目的な利用ができないかを検討したい。				

〔運動施設管理運営費〕 240,716,581円 (その他特財69,987,478円)

・一般経費(施設管理委託料、光熱水費等)

〔運動施設整備事業費〕 7,108,700円

・霞ヶ浦緑地運動施設 3,020,000円
霞ヶ浦舟艇場浚渫整備工事

・中央緑地運動施設 4,088,700円
中央緑地水泳競技場ろ過設備改修工事

〔負担金〕 15,000円

・三重県体育施設協会

その他経費

〔一般経費〕 4,057,028円 (その他特財 574,850円)

・楠プラザ運動施設一般経費

目4 四日市ドーム費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
85,819,000円	85,326,662円		492,338円

(スポーツ課)

目的	スポーツ施設及びスポーツ環境の整備				
指標	スポーツ施設稼働率の向上	目標	100%	実績	100% (15年度 98%) 1人当たりコスト 549円 (15年度 751円)
説明	市民サービスと利用率向上のため、インターネットでの広報活動等を行い、ドーム利用の促進に努めました。四日市ドームの稼働率については目標を達成できたが、今後も利用の促進に努めていきたい。				

〔自主事業費〕 231,500円

〔施設管理運営費〕 84,295,162円 (その他特財 37,091,775円)

〔補助金〕 800,000円

・イベント開催費

四日市ドーム利用状況

開館日数(A)	利用日数(B)	利用件数	利用率(B/A×100)	使用料収入	
307日	307日	409件	100%(H15 98.7%)	34,505,280円	
アマチュアスポーツ		その他の催し物		一般公開	
入場料無	入場料有	式典・講演会	展示・見本市	プロ興行	合計
376件	9件	2件	5件	0件	17件
409件					

